

# 無防備宣言をめざす札幌の会9月17日 スタート

無防備宣言をめざす札幌の会 谷百谷子さん

無防備地域宣言全国ネットワークの皆様、札幌の谷と申します。この度札幌も来秋を目指し運動をスタートさせました。

まだまだ準備不足です！見切り発車もいいところです。事務局の中でも時期が早い、参議院選挙とぶつかると、などの声があり署名時期については流動的です。皆様のアドバイスをお願いします。

## これまでの経過

私がこの運動に関わるいきさつは、インド在住のお坊さんの言葉でした。「日本の市民運動は攻めて来られたらどうする」という理論に弱いですねの一言が、頭から離れません。私にガンジーや、キング牧師のような偉大な勇氣はありませんし、沖縄の阿波根さんにもなれるわけもなしと、答えが見つからないでいる時に札幌のYさんからこの条約のことを伺い、少しずつ、勉強してきました。

1999年、オランダのハーグで国際会議があり、日本の憲法9条を世界の規範にとの声が上がリ、地方から9条を実現するためにと、1999年の6月に「無防備・非核ネットワーク

ーク北海道」を立ち上げ全道に呼びかけました。その後、学習会や、通信発行などを細々と行ってきたのですが、さてこれからどうしようかと考えていた折、大阪、東京、奈良、京都、沖縄など各地で、続々と声が上がリ皆さんの熱風がどおんと吹いてきて、札幌も、直接請求に踏み切ることになりました。

## 直接請求に向けて

### いよいよスタート

9月17日は、30名程の参加でスタートしました。品川の無防備宣言代表佐藤直己さんをお招きして体験談を伺い、スケジュールの組み方や、署名の集め方等、具体的なノウハウを楽しくお話しして頂きました。肩の力を少し抜いて取り組めそうです。とりあえず事務局体制を決めて進む事になりました。

10月4日に第1回目の会議を持ちました10名の方が集まって下さり、それが皆さん政治の手練達？で驚いたりよるこんだり！。大半の意見は、選挙とも重なる事、札幌は188万人もの大都会で有権者が154万人、3万1千人がベースライン

であることから、来秋の署名開始は難しいのではないかと言うものでした。泊原発反対道民請求の時も個人や団体が一丸となって集めても道議会で否決された苦い思いが私にもあります。

しかし無防備の運動は少し違うのではないかと思うのですが？政府は私たちの上手をいっています。国民保護法と言う戦争法をつくり戦争し易くするために、ジュネーブ条約追加第一議定書を批准したとも考えられます。

それならば、都合のいい所だけ活用するのではなく無防備宣言も実行しなさいと私たちは声を上げるべきです。丸腰の私たち市民は殺される事もなく殺す事もないと。世界の宝憲法9条をもつ日本こそ先んじて無防備宣言を広めなくてはならないと思います。こちらの準備をあまり長くしている時間はありません。

北朝鮮の核実験で日本も核武装の声が、今は潜んでいます。やがて表面化する恐れは大です。日本は六ヶ所村に世界最大の核燃基地をもっています。そこには原爆5000発分のプルトニウムが保管されます。これはアジアの人々には脅威です。しかしマスコミも、どこの国の政府も、それを言いません。北朝鮮を非難するだけではなく、最大の核保有国アメリカをはじめ世界の核クラブ国に、今すぐ核廃絶せよと抗議して

いくのが筋です。憲法9条と無防備の精神を世界にアピールしましょう！猫の首に鈴を！

無防備の条件には自衛隊、軍事基地が上げられますがそのどちらも札幌にはあります。ここが知恵の見せ所で、私は今からわくわくしています。

11月1日に2回目の事務局会議を持ちます。すでに事務所を提供してくださる方が現れ印刷機もいただけることになりました。会計も決まり少しずつ動きはじめました。

学習会の回数に比例して署名数が増えると聞きました。これからは無防備のニューウエーブの方にもたくさん参加して頂き非暴力の運動を勧めていきます。宜しくお願いします。

## 十一月四日第1回学習会

クリスチャンセンター4階

13時から16時

佐藤直己さんと前田朗さんの豪華ゲストをお迎えして無防備のイロハから学ぶ事にします。

十一月四日エルプラザ4階

18時30から

前田朗さん講演会

「ジュネーブ条約から学ぶ平和のありかたとは？」